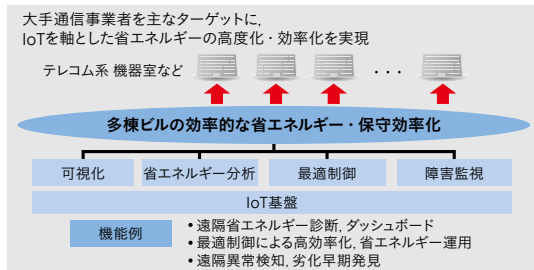


アーバンソリューション



1 Total Building Optimizationの概要

1 北米における Total Building Optimization

日立は、多数の中小規模施設を持つ需要家向けの省エネルギーソリューションとして「Total Building Optimization」を開発している。近年、大企業を中心とした多くの企業がコスト削減や地球環境対策の観点から省エネルギーの推進に注力している。一方で、広大な国土に中小規模の施設・設備を多数、分散して保有している場合、全体としてのエネルギー消費量は莫大でありながら個々の施設の規模は小さく、費用対効果の面からハードルの高い省エネルギー対策は遅々として進んでいない。

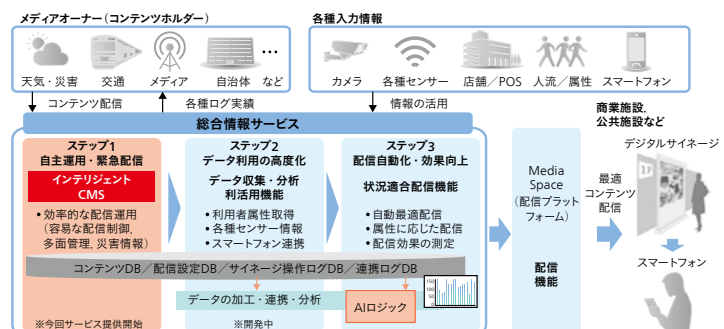
日立は、これまで北米の大手通信事業者など多数の顧客との協創により培ってきた省エネルギーソリューションや小規模多棟向けの省エネルギー解析・設備診断のモデル化技術、ノウハウを駆使して、IoT(Internet of Things)を活用したエネルギー消費情報の収集と高度な制御のほか、それらの情報を一元管理するシステムの開発を進めている。これに伴い、最適制御によ

る高効率化と省エネルギー運用の実現、遠隔異常検知や劣化の早期発見、保守作業効率化などによる省エネルギー推進、運用コストの最適化などのサービスを2018年より北米にて提供開始する予定である。

2 総合情報サービス デジタルサイネージ

今や商業・公共施設などにおける情報提供設備として、なくてはならないものとなったデジタルサイネージの新たなニーズに対応するため、変化する周囲の状況や街中にあふれるさまざまな情報を収集し、AI(Artificial Intelligence)で分析することで、課題の解決や新しいサービスの創出、価値向上などにつなげる「総合情報サービス」を開発している。

サービスの第1弾として、デジタルサイネージの運用業務の負荷軽減やコンテンツ配信のフレキシブル性を大幅に向上するインテリジェントCMS(Content Management System)の提供を開始した。インテリジェントCMSを活用することで、運用事業者や権限を付与された広告主、代理店が、番組表にコンテンツを直接登録し、場所や時間帯に応じて各ディスプレイへ適切なコンテンツを配信できるようになる。また、ニュースや天気予報といった外部コンテンツを簡単に組み合わせ、場所や時間に応じた自律的な配信や、複数ディスプレイの表示のタイミングを効果的に合わせるなどインパクトの大きい空間演出などが実現できる。



注：略語説明 POS (Point of Sales), DB (Database)

2 総合情報サービスの概要